



日見地区ふれあいセンターだより



長崎市界2丁目1番19号



839-8832



himik@mx.cncm.ne.jp

今年も梅雨の季節がやってきました。日見地域センター敷地内では、色々な種類の花が皆さんに観てもらえるのを楽しみに待っています。裏の日見川沿いに並ぶ紫陽花は、水族館入口の橋からの鑑賞をおすすめします。

さて、今年は長崎大水害（昭和57年7月23日）から40年目となる節目の年です。私たちは、この災害体験を風化させることなく、将来への教訓として語り継ぐ必要があります。日見地区連合自治会様が、慰霊祭を計画されていますので、その際には、地域の皆様のご協力をお願いいたします。

近年は、線状降水帯（非常に強い雨が特定の地域に長時間連続して降り続ける）による集中豪雨が増えてきているそうです。雨が降り続く様な時には、お出かけ前に、天気予報を確認するようにしましょう。



【日見地区ふれあいセンター運営委員会が行われました】

令和3年度事業・決算報告、令和4年度事業予定・予算などが話し合われ、2年目の活動がスタートしました。みなさまに喜ばれる運営をしていきますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。たくさんのご利用をお待ちしております。

【いきいきライフ（夏） 篠原教子先生】

日時：7月2日（土）・9日（土）の2回 10:00~12:00

参加対象：高齢者 各回20名 参加費：無料



いきいきライフ

【お遊び教室 セタ飾りを作ろう】

日時：6月23日（木） 10:00~11:30

参加対象：0歳児から就学前のお子さんとその保護者（申込不要）

【被爆者定期健康診断のお知らせ】

日時：6月14日（火）～6月17日（金） 4日間とも 13:30~15:30

持参するもの：被爆者健康手帳、第一種健康診断受診者証または第二種健康診断受診者証と
案内ハガキ

問合せ先：（公財）長崎原子爆弾被爆者対策協議会 （電話 844-3100）



【令和4年度学習グループの紹介】

学習グループ名	学習内容	曜日	学習グループ名	学習内容	曜日
太極拳愛好会	太極拳の練習	金	日見・九条の会	憲法を学ぶ	日
押し花倶楽部	押し花	火	ふくろう倶楽部	スポーツ吹き矢	金
日見ソフトエアロビクス	ファミリー健康体操の学習	木	日見ヨガクラブ	ヨガ健康法(呼吸法)	木
すこやかクラブ	ラージボール卓球	土	みちヨガ	リラックスヨガ	金
フィーリングアートバレエ	子どもバレエ練習	木	日見正武会	子ども空手道の練習	火・金
日見書道会	書道教室	火	さくらラージ	ラージボール卓球	火
日見マードレ・コール	コーラスの練習と発表	水	日見剣友会	少年剣道の錬成と親睦	不定期
リフレッシュ日見	卓球の練習	水	日見卓球愛好会	会員相互の親睦の 為の練習(卓球)	火・木
日見マスターズ	ラージボール卓球 による健康と親睦	水・土 金	楊名時太極拳	太極拳による健康法	日
健康体操教室	高齢者健康体操	水	日見シンプルサックス	楽器演奏の練習	水

※ 学習グループについてのお問い合わせは、図書室内の窓口にてお受けいたします。

【第2回 日見未来会議が開催されました(4月24日 日曜日)】

第2回のテーマは、日見のために『どんなことができるかみんなで話そう!』でした。交流・情報発信・福祉・環境・安心安全の分野に分かれて話し、わくわくするような日見地区の可能性を見出すことができました。未だコロナ禍ではありますが、顔を合わせて分かち合うことの大切さを感じた時間でした。

お知らせ

【予告】第3回 日見未来会議

日 時：6月26日(日) 14時～16時30分 第3・4研修室にて

参加対象：子どもから大人まで! コロナ対策をして、みんな集まろう!

【新刊のご案内】

《大人向け》

- ・基礎から身につく大人の教養
「野口体操」ふたたび 羽鳥 操/著
- ・何のために伝えるのか?情報の正しい
伝え方・受け取り方 池上 彰/著
- ・花を育ててみたいのですが。枯らさない
コツ、花屋が教えます。

花福こざる/著

《児童向け》

- ・東京タワーに住む少年 山口 理/著
 - ・ドラゴン最強王図鑑 健部 伸明/著
- ※貸出し中の場合は、予約ができます。

【日見の歴史を調べてみました】

『日見』の由来は?

天正6年(1578年頃)長崎領主長崎甚左衛門と深堀の領主深堀茂宅が争っていた。つまり、深堀氏は、長崎を奮いたがっていたのである。初夏のある夜、深堀氏は奇策をもって軍勢を網場に集結し、長崎の背後から襲わんとした。早くもこれを察知した甚左衛門は軍勢を日見峠に集結した。この峠から望見すると網場における深堀勢のかがり火が見えたので、この峠を日見峠と言うようになり、さらに村落を後の人が「日見」と言うようになったとの説がある。

参考文献：長崎市東部地区産業名鑑